

留学生支援のための制度理解

岩田 剛(愛媛大学 国際連携支援部国際連携課国際支援チーム チームリーダー)

講師略歴

平成24年鳥羽商船高等専門学校事務職員に採用。その後、愛媛大学に転籍し、国際連携支援部、総務部を経験し、令和4年から現職。平成30・31年に SPOD 次世代リーダー養成ゼミナールを受講し修了。愛媛大学認定研修講師。関連著書に『大学教育の国際化』(分担執筆)。

プログラム概要

令和6年の在日外国人留学生数は33万6千人を超え、過去最多を更新しました。今後、少子化社会のなか留学生の受入れがさらに拡大することが予想されます。一方で、近年首都圏で大量の留学生失踪事案が発生したことを契機として、各大学等は国からより厳格な留学生の在籍管理が求められています。

各大学等が留学生を受け入れるにあたり、在留資格に関連する法律などのルールに違反してしまうと、留学生が留学を継続できなくなったり、受入機関が罰則を課せられる恐れがあります。留学生の生活や学習においても留意すべきことがあるため、制度に対する理解は、教務関連の部署をはじめ、教職員全体に求められるともいえます。

このプログラムでは、留学生支援にあたって必要な制度について、在留資格、在籍管理を中心に理解し、その理解をもとに、他機関の教職員ともグループワークで意見交換を行いながら、参加者の皆様が自大学等で組織的に留学生を支援するための方策を考えていきます。

準備物・事前課題

所属組織の留学生の支援体制(在籍管理、卒業・退学・除籍後の帰国指導)について可能な範囲で調べておく

主な受講対象者

・教職員(国際系部署以外の職員の参加を歓迎します)

到達目標

1. 留学生支援に関連する制度、特に在留資格、在籍管理について説明することができる。
2. 所属組織の留学生支援の特徴と課題を抽出することができる。
3. 所属組織の留学生支援の特徴と課題に対する提案を行うことができる。